

小児環境保健疫学調査に関する検討会の設置について

環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課
環境リスク評価室

1. 目的

近年、子供に対する環境リスクが増大しているのではないかとの懸念があり、環境中の有害物に対する小児の脆弱性について大きな関心が払われている。

平成18年8月、「小児の環境保健に関する懇談会」において小児環境保健分野において取るべき方策案が取りまとめられ、環境要因（化学物質のばく露、生活環境等）が子どもの発育に与える影響を明らかにするために「小児を取り巻く環境と健康との関連性に関する疫学調査」の推進が提言されたところである。

国内外の疫学調査を把握し、国内における既存の疫学調査間の連携と新規疫学調査の立ち上げについて検討するため、「小児環境保健疫学調査に関する検討会」を設置する。

2. 委員構成： 別紙参照

3. 議論内容

小児環境保健に関する国内外の疫学調査の状況把握

小児環境保健に関する新規疫学調査について

その他

4. スケジュール：

平成19年10月～平成20年3月 5回程度開催

5. 事務局：

環境情報科学センター

(別紙)

小児環境保健疫学調査に関する検討会
委員名簿

(敬称略)

稲垣 真澄	国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部診断研究室長
内山 巖雄	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻環境衛生学講座教授
香山 不二雄	自治医科大学・地域医療学センター環境医学部門教授
川本 俊弘	産業医科大学医学部衛生学講座教授
岸 玲子	北海道大学大学院医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野教授
北川 道弘	国立成育医療センター周産期診療部長
佐藤 洋	東北大学大学院医学系研究科環境保健医学分野教授
白石 寛明	国立環境研究所環境リスク研究センター長
仲井 邦彦	東北大学大学院医学系研究科環境保健医学分野准教授
新田 裕史	国立環境研究所環境健康研究領域環境疫学研究室長
林 謙治	国立保健医療科学院次長
水上 尚典	北海道大学大学院医学研究科産科生殖医学分野教授
森 千里	千葉大学大学院医学研究院教授
米元 純三	国立環境研究所環境リスク研究センター副センター長